TOSHIBA
Leading Innovation

保管用

ネオスリムV スリムスクエア

東芝蛍光灯器具

取扱説明書

＜商品概要＞

■スクエア形蛍光灯
「ネオスリムZスクエア」ランプ搭載
■リモコン
■連続調光タイプ（インバーター点灯方式）
■プルスイッチレス機能

器具形名	
本体形名	

お客様へ

●このたびは東芝蛍光灯器具をお買い上げ頂きまして
ありがとうございます。
●この商品を、安全に正しくお使いいただくために、
この取扱説明書をよくお読みください。
●本書は必ず保管してください。

工事店様へ

●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・3
器具の取り付けかた ・・・・・・・・・・・・4～5
セード・器具のはずしかた、ランプの交換方法 ・・・6
器具の使いかた・・・・・・・・・・・・・・7～10
使用上のご注意、故障ではありません ・・・・11
故障かな?と思ったら、お手入れのしかた ・・12

(0031750)E

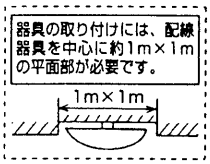
＜生産完了 2012年10月01日＞
FSH91454REL (1／12)

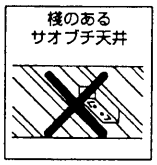
安全上のご注意

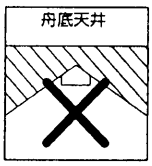
⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

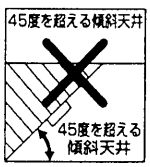
●次のような場所には取り付けないでください。(この器具は天井取付専用です。)

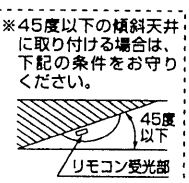
取付禁止	指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。







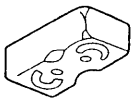


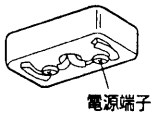


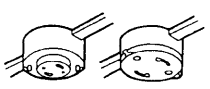
●傾斜方向の下側にリモコン受光部側がくるように取り付けてください。
●引掛シーリングボディに器具の荷重が加わらないように本体を**木ねじ**で必ず固定してください。

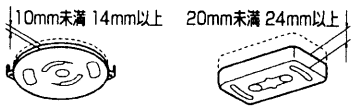
●次のような配線器具(引掛シーリングボディ)には取り付けないでください。

取付禁止	次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。 (※照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。) 火災・感電・落下してけがの原因となります。









※配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

改　造	火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

可燃物	火災の原因となります。

●調光器(当社商品名コントルクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと、器具の破損や発煙の原因となります。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

●屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。

湿気禁止	この器具は非防水です。 火災・感電の原因となります。

●点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。

接触禁止	高温になっています。 やけどの原因となります。

●人感スイッチと併用して使用する場合、センサーの動作によりランプの点滅が多くなる場所ではランプの短寿命の原因となります。

●温度の高い場所では使用しないでください。

高温禁止	暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。

●交流100V(±6V)以外の電圧で使用しないでください。定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
●天井の材質や構造によっては天井面が変色する場合があります。

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

(0031750)E

<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL(2/12)

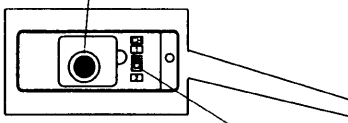
各部のなまえ

※この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますので、
お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

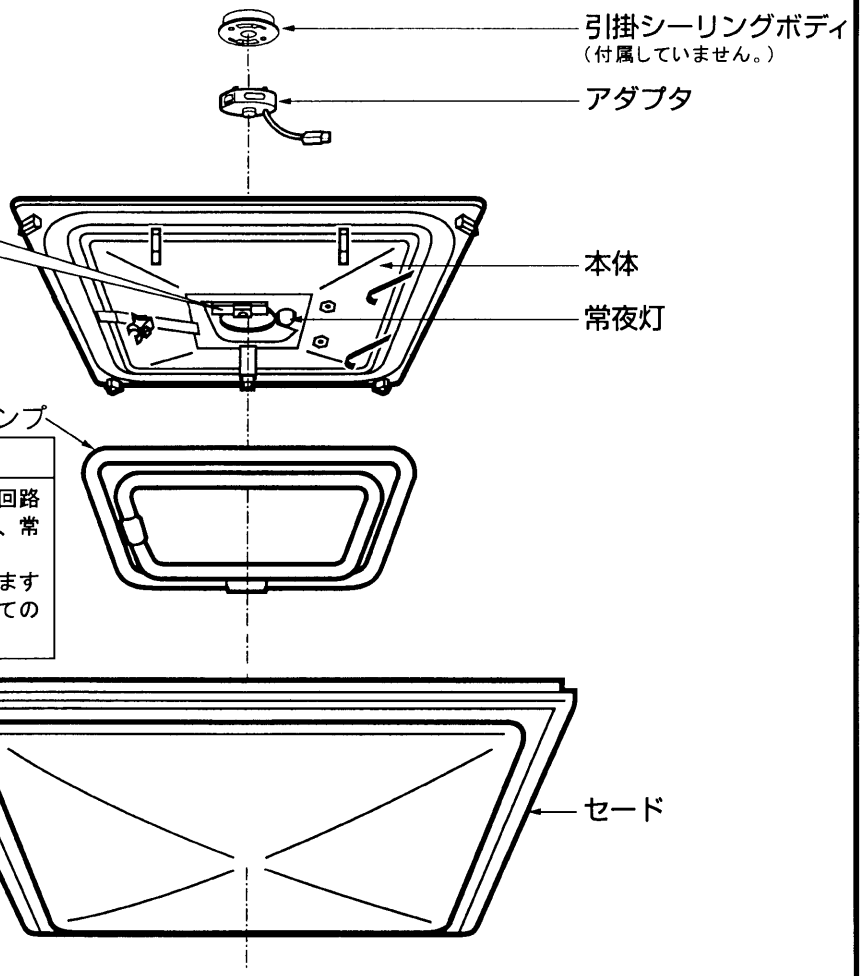
ネオスリムV スリムスクエア

※このチャンネルは、出荷時チャンネル1に設定してあります。

受光部
・リモコン送信器から出た赤外線を受信します



チャンネル切替えスイッチ
・当リモコン照明器具は2チャンネル方式です。このチャンネル1,2を送信器と同じチャンネルにしてご使用ください。



ランプ寿命について

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し、常夜灯が点灯します。
残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。

ご注意

●万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
(壁スイッチを一度切るか、壁スイッチが無い場合は、電源コネクタを一度はずし取り付けてください。)

器具により枠に天然素材、手作り品を使用している製品があります。
天然素材、手作り品のため、カタログと色が多少異なる場合や形状にバラツキが発生する場合があります。

仕様

器　具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力(器具)	待機電力	適　合　ラ　ン　プ
90W形	AC100V	50/60Hz共用	74W	1W以下	FHG40、FHG50 常夜灯100V5W
110W形	AC100V	50/60Hz共用	89W	1W以下	FHG50、FHG60 常夜灯100V5W

⚠注意	LED常夜灯は、ご使用できません。 照明器具が故障するおそれがあります。

(0031750)E

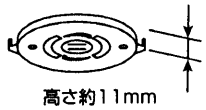
<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL (3 / 12)

器具の取り付けかた　※取り付けの際は必ず電源を切ってください。

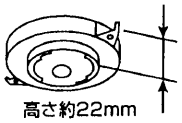
① 天井の配線器具を確認する

器具を取り付ける天井に図のような引掛シーリングボディが取り付けられているか確認してください。

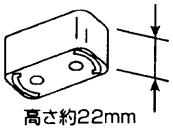
・取付可能な配線器具（JIS C8310シーリングローゼットに記載の引掛シーリングボディに適応できます。）



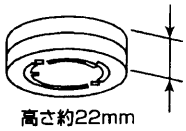
埋込引掛シーリング



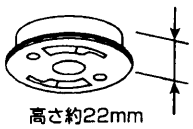
埋込高荷重・耐熱形引掛シーリング



角形引掛シーリング

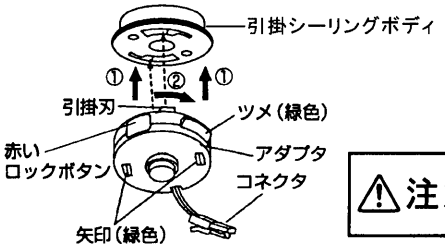


丸形引掛シーリング



高荷重・耐熱形引掛シーリング

② アダプタを取り付ける

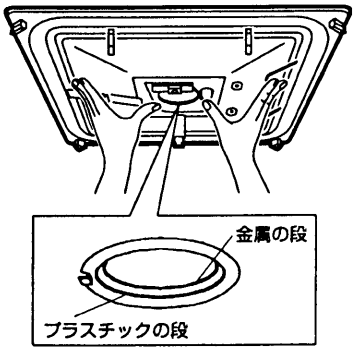


① 引掛シーリングボディへアダプタの2本の引掛刃を挿入します。

② “カチッ”と音がするまで右に回します。

⚠注意	赤いロックボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。 アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

③ 本体を取り付ける　※本体裏面のねじ先端部に触れないように注意してください。強く触れるとけがの原因となります。



※安全のためランプは取りはずしてから、本体を取り付けてください。

① 本体の中央寄りを手で支え、アダプタとの位置をあわせて“カチッ”と音がするまで本体をまっすぐに押し上げます。
※コードをはさみ込まないように注意してください。

部屋と方向を合わせる場合は本体をもってまわしてください。

埋込引掛シーリングの場合

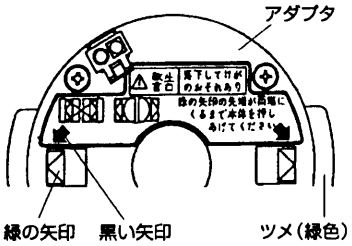
（高さ約11mm）

1段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体の金属の段に取り付けてください。

角形・丸形引掛シーリングの場合

（高さ約22mm）

2段階押し上げてアダプタのツメ（緑色）を本体のプラスチックの段に取り付けてください。



② 本体固定時、緑の矢印の先端が両端にくるまで押し上げてください。

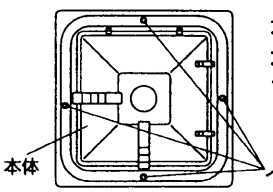
⚠警告	黒い矢印の先端に緑の矢印の先端がくるまで本体を押し上げてください。 本体の取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

※器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。はがさないでください。
（天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。）

本体を木ねじで固定する場合

本体が安定しない場合や傾斜天井（45度以下）に取り付ける場合は、**木ねじ**で固定してください。**木ねじ**で固定する場合は4箇所（4本）とも固定してください。

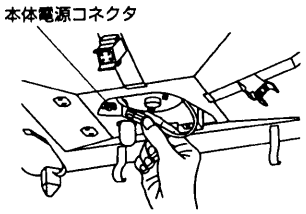
※木ねじは付属しておりません。



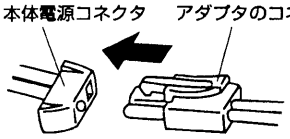
本体ノックアウト（4箇所）を本体裏面からドライバー等で打ち抜きます。

(0031750) E
＜生産完了 2012年10月01日＞
FSH91454REL (4 / 12)

④ コネクタを接続する

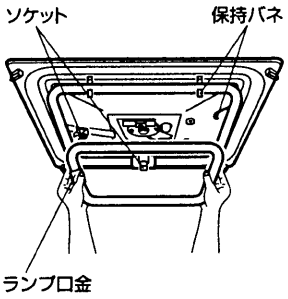


アダプタのコネクタを本体電源コネクタに差し込みます。



⚠注意	抜けないことを確認してください。

⑤ ランプを取り付ける



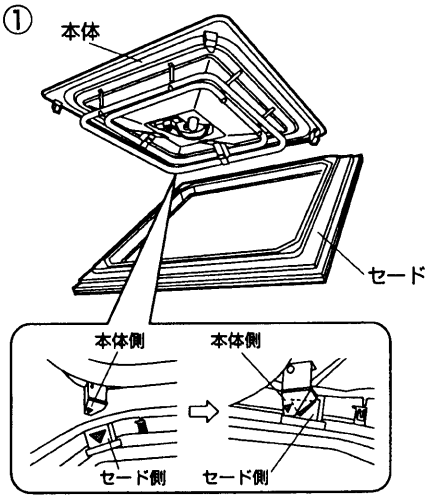
・本体に大きいランプから順に取り付けます。
① 保持バネ
② ソケット
の順で取り付けます。

※出荷時にランプは本体に取り付けられています。

⚠警告	適合ランプ以外は使用しないでください。感電または火災の原因となります。
⚠注意	ランプの口金は、無理に回さないでください。破損の原因となることがあります。
⚠注意	ランプをソケットに確実に取り付けてください。取り付けが不十分ですと、常夜灯点灯になり、ランプが正常点灯しません。火災の原因となります。

⑥ セードを取り付ける

①

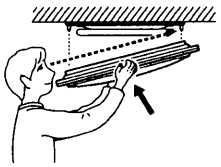


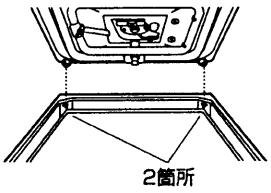
① セードを合わせる。

本体の▼印とセードの▼印をかさねる。(2箇所)

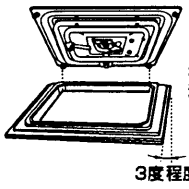
ポイント

・セードの外側の中心を持って取り付けてください(↖部分)。
・▼印が見える位置で取り付けを行なってください。



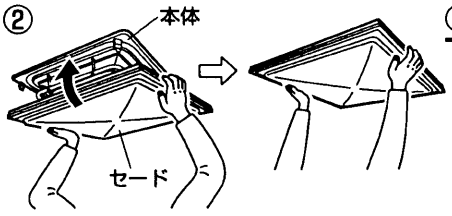


※4箇所のどの位置でも取り付けできます。



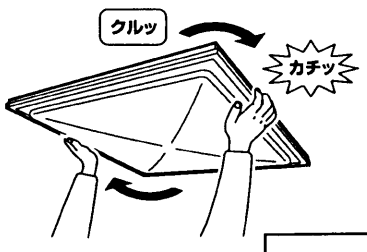
約3度(約3~4cm)程度斜めに位置あわせすると入りやすくなります。

②



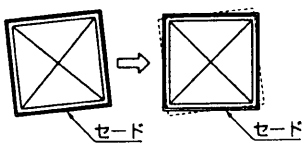
② 天井面にセードを押し上げる。

③



③ セードを回して取り付ける。

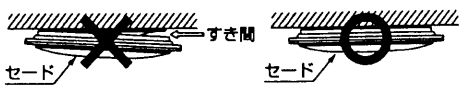
「カチッ」と音がするまでセードを少し(約3度、約3~4cm) 右に回します(時計回り)。



ポイント

・セードは約3度(約3~4cm)程度回すだけで取り付きます。

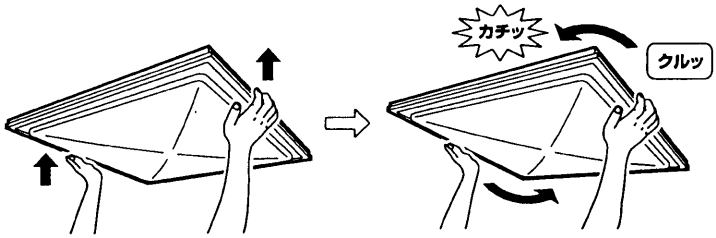
⚠警告	セードの4隅を軽く引っぱって確実に取り付いていること確認してください。落下の原因となることがあります。



(0031750)E

＜生産完了 2012年10月01日＞
FSH91454REL (5 / 12)

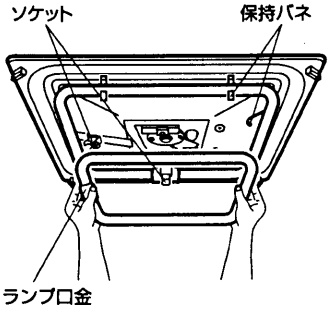
セードのはずしかた



セードを押し上げながら、セードを少し(約3度、約3～4cm)左に回してはずしてください。

ランプの交換方法 ※ランプ交換の際は必ず電源を切ってください。

●ランプ口金付近のガラス管が少し黒くなったり、光が弱くなりましたら早めに交換してください。
ランプの寿命がくると器具の保護回路がはたらき、すべての蛍光ランプが消灯し常夜灯が点灯します。
ランプ交換の際は、適合ランプ（東芝蛍光ランプ・ネオスリムZスクエア）をご指定ください。



小さいランプからはずしてください。
① ソケット
② 保持バネ
の順で取りはずします。

器具のはずしかた

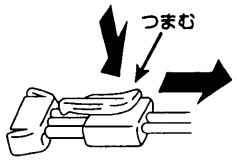
① セードをはずす

上記「セードのはずしかた 」を参照してください。

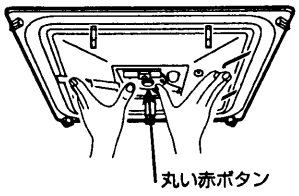
② ランプをはずす

上記「ランプの交換方法 」を参照してください。

③ 本体をはずす



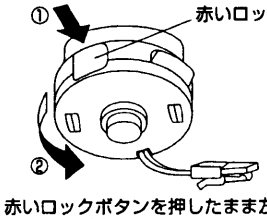
① アダプタのコネクタを電源コネクタからはずします。
※コネクタをつまみながら引き抜いてください。



② 両手で本体を押しあげながら中央にある電源アダプタの丸い赤ボタンを押してください。

⚠注意	本体は必ず両手でささえながら、はずしてください。本体をささえないで本体をはずすと、本体が落下してけがの原因となります。

④ アダプタをはずす



赤いロックボタンを押したまま左に回してください。

赤いロックボタンを①矢印方向に押したまま、②左方向に回してください。

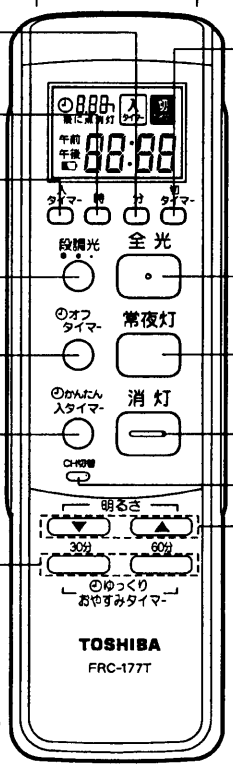
(0031750)E
<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL (6 / 12)

器具の使いかた

器具の使いかた リモコンを使って操作する

■各部の名前とはたらき

リモコン送信器　FRC−177



LED送信部
器具操作の信号がでます。

※保護シートをはがしてご使用ください。
そのままご使用になりますと、リモコンの効きにくい場合があります。

〈分〉ボタン
時刻表示(分)が進みます。

〈時〉ボタン
時刻表示(時)が進みます。

〈入タイマー〉ボタン
入タイマー予約時に使用します。

〈段調光〉ボタン
照明器具が約70%ー約50%ー約10%順送りで調光点灯します。

〈オフタイマー〉ボタン
照明器具が選択した時間後に消灯します。

〈かんたん入タイマー〉ボタン
照明器具が選択した時間後に調光点灯します。

〈ゆっくりおやすみタイマー 30分／60分〉ボタン
照明器具が30分(または60分)後に蛍光灯が消灯します。
残り10分間は蛍光灯の明るさがゆっくり減少します。

〈切タイマー〉ボタン
切タイマー予約時に使用します。

〈全光〉ボタン
照明器具が全光点灯します。

〈常夜灯〉ボタン
照明器具が常夜灯点灯します。

〈消灯〉ボタン
照明器具が約1秒でフェード消灯します。
※明るさ約10%点灯時からのフェード消灯はありません。

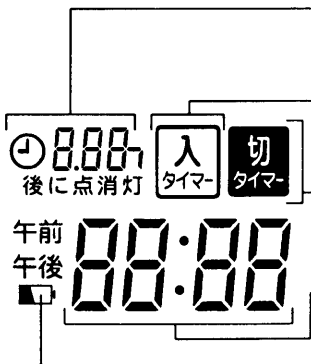
〈CH切替〉ボタン
操作する照明器具のチャンネルを選択します。

〈明るさ▼　▲〉ボタン
照明器具の明るさが変わります。
・蛍光灯:100%〜約10%
・常夜灯:6段階
の明るさの調整ができます。
長押しすると連続的に調整できます。
※消灯から▲ボタンを押しても点灯しません。ランプを点灯させてから、明るさを調整してください。

※リモコン本体の前面には保護シート(透明)が貼ってあります。

■液晶パネル表示

※説明のため、全部を表示しております。実際にはこの表示にはなりません。



●かんたんタイマー設定
オフタイマーまたはかんたん入タイマー設定時に表示します。

●入タイマー予約表示
入タイマーを予約した場合に表示します。

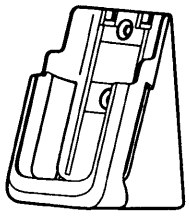
●切タイマー予約表示
切タイマーを予約した場合に表示します。

●時計表示
現在時刻を表示します。
予約内容を確認した場合は、予約時刻を表示します。

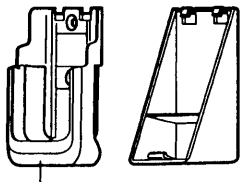
●電池残量表示
電池の残りが少なくなると表示します。
マークが表示されたら、電池を2本とも新しいものに交換してください。
※リモコン機能が正しく動作しません。

■リモコン送信器付属品

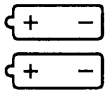
卓上ホルダー(分離型)



分離して壁ホルダーとしてもご使用いただけます。



単4乾電池(2本)



※動作確認用です。

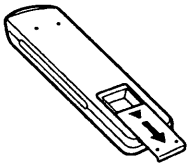
取付用木ねじ(2本)

(0031750)E
<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL (7／12)

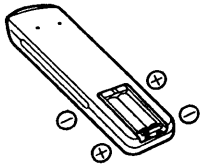
器具の使いかた リモコンを準備する

① 乾電池を入れる

①裏面のカバーを軽く押さえながら手前に引いてください。



②単4乾電池を表示にあわせて極性+−をまちがえないように入れて、カバーを閉めてください。



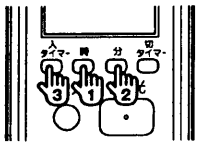
ご 注 意

- 乾電池交換の際は必ず同時に2本とも交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期にわたり、リモコン送信器を使用しない場合は、電池をはずしておいてください。液もれなどでリモコン送信器をいためる原因となります。

リモコン送信器の平均電池寿命は1日10回の使用の場合約9ヶ月がめやすです。

② 時計を合わせる

注意）時刻設定が正しくされていないと、予約したい時刻に動作しません。



＜電池投入時＞

※電池投入後60秒間は「午前0:00」が点滅します。

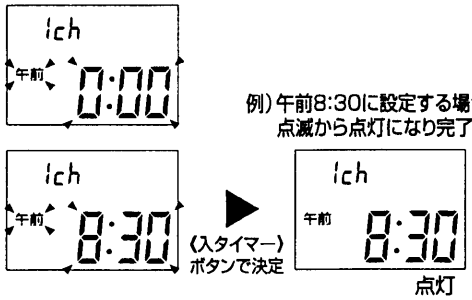
①《時》ボタンで時刻を合わせます。

《時》ボタンを押すごとに1時間単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

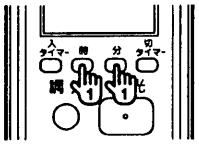
②《分》ボタンで分を合わせます。

《分》ボタンを押すごとに1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。

③《入タイマー》ボタンを押して決定します。



例）午前8:30に設定する場合
点滅から点灯になり完了。

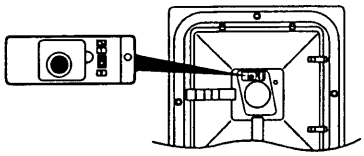


＜時刻を変更するとき＞

①《時》＋《分》ボタンを同時に3秒間押します
②「電池投入時」の①〜③と同じ手順で時刻を登録します。

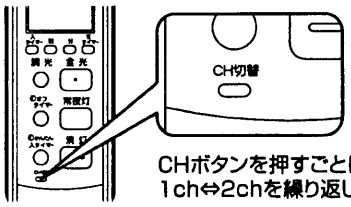
③ チャンネルを合わせる

①照明器具のセードをはずします。
例:1ch設定する場合照明器具のチャンネルを1にします。



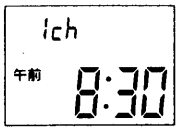
※照明器具のチャンネルとリモコン送信器のチャンネルを同じチャンネルに合わせてください。チャンネルが合っていないと操作できません。

②リモコン送信器のチャンネルを1に合わせます。



CHボタンを押すごとに
1ch⇔2chを繰り返します。

液晶画面に
「1ch」が表示

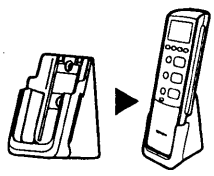


※出荷時は1chに設定してあります。

器具の使いかた リモコンホルダーのご使用方法

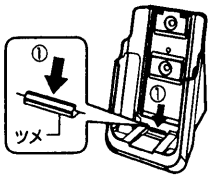
＜卓上ホルダー＞

卓上にリモコンを置く時に使用します。タイマー設定時には、器具にリモコン正面を向けて、ご使用ください。

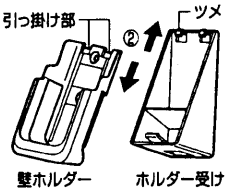


卓上ホルダーは分離して、壁ホルダーとしてもご使用いただけます。

①卓上ホルダー下部にあるツメを⬇の方向に押します。

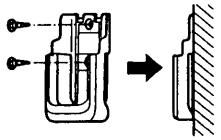


②矢印の方向にスライドさせると分離できます。



〈卓上ホルダーとしてご使用になる場合〉
（組み立て方）

壁ホルダーの「引っ掛け部」にホルダー受けの「ツメ」を合わせて➡の方向に押すと卓上ホルダーになります。



ご 注 意

壁掛けホルダーに入れたままで、リモコンがきにくい場合はホルダーから送信器をはずして器具に向けてください。壁掛けホルダーにいれたままで、リモコンがきにくい場合は、その場所でのタイマー予約はおやめください。

(0031750) E
＜生産完了 2012年10月01日＞
FSH91454REL (8 / 12)

器具の使いかた 入タイマー／切タイマー機能を使う

入タイマーを予約する

タイマー機能を使って照明器具を「調光点灯」させることができます。

※時計を正しい時刻に設定しておいてください。（「時計の合わせ方」参照）

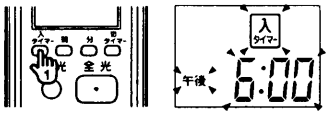
例）午後7:30に入タイマーを予約する場合。

操作ボタン　液晶画面

1、〈入タイマー〉ボタンを押します。

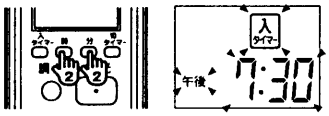
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後6:00に設定してあります。



2、〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、〈入タイマー〉ボタンを押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 入タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）

切タイマーを予約する

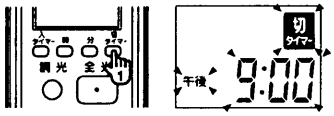
例）午後11:30に切タイマーを予約する場合。

操作ボタン　液晶画面

1、〈切タイマー〉ボタンを押します。

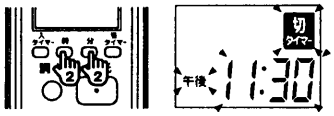
画面が点滅します。

※工場出荷時は午後9:00に設定してあります。



2、〈時〉、〈分〉ボタンで時刻を決めます。

〈時〉ボタンを押すごとに、1時間単位で進みます。
〈分〉ボタンを押すごとに、1分単位で進みます。
※ボタンを長押しすると、早く時刻が送れます。



3、〈切タイマー〉ボタン を押します。

液晶画面が点滅から点灯に変わり 切タイマー が液晶画面に表示され予約完了です。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）

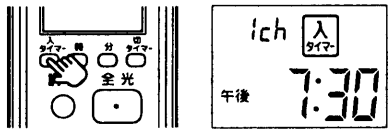
予約内容を確認する

例）「入タイマー」の予約時刻を確認する。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、〈入タイマー〉ボタンを1回押します。

現在の予約時刻を表示します。
（約3秒後に現在時刻の画面に戻ります。）



※切タイマーの予約時刻の確認も 切タイマー 表示されている状態で〈切タイマー〉ボタンを1回押します。

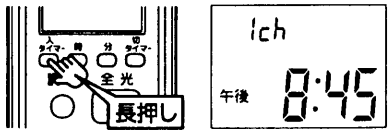
予約を解除する

例）「入タイマー」の予約を解除する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、〈入タイマー〉ボタンを3秒間長押しします。

入タイマー 表示が消え現在時刻表示に戻ります。



※切タイマーの予約を解除する場合も 切タイマー 表示されている状態で〈切タイマー〉ボタンを長押しします。

予約中の設定時刻を変更する

例）「入タイマー」の予約時刻を変更する場合。

※液晶画面上に 入タイマー 表示されている状態で、

1、〈入タイマー〉ボタンを3秒間長押しします。

2、「入タイマーを予約する」1～3の操作をします。

※一度解除しないと予約時刻の変更はできません。
※切タイマーの予約時刻を変更する場合も、一度予約を解除してください。

(0031750)E

＜生産完了 2012年10月01日＞
FSH91454REL (9 / 12)

器具の使いかた ワンボタンかんたんタイマーを使う

ゆっくりおやすみタイマー

●ワンボタン操作で30分後、または60分後に蛍光灯の自動消灯ができます。
また、残り10分間は明るさがゆっくり減少します。

「30分」ボタンを押すと器具がピピッと2回鳴ります。

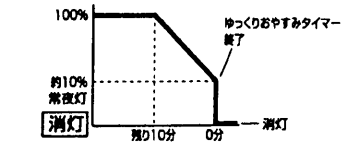
「60分」ボタンを押すと器具がピピピッと3回鳴ります。

●チャンネルの設定で、ゆっくりおやすみタイマー後の照明器具の状態が選べます。

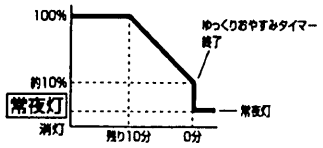
・CH1の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「消灯」します。

・CH2の場合:
ゆっくりおやすみタイマー終了後「常夜灯」が点灯します。

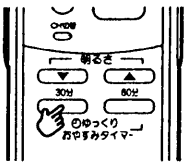
CH1の場合



CH2の場合



※「全光」「段調光」「常夜灯」「消灯」のいづれかを操作すると解除されます。
※約10%の調光点灯では蛍光灯の明るさは減少しません。
※ 常夜灯が点灯している状態で、ゆっくりおやすみタイマーのボタンを押した場合は、CH1、CH2とも30分後(または60分後)に消灯します。(明るさはゆっくり減少しません。)



ゆっくりおやすみタイマー作動中は液晶のタイムカウントが点滅します。
※CH1とCH2でそれぞれタイムカウント表示ができます。
チャンネルを切替えて表示させた場合は、約3秒後にタイムカウント表示に戻ります。

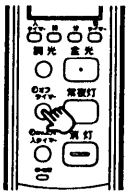
ポイント 出荷時は本体側、リモコンともにCH1に設定されています。設定を変更する場合は、本体とリモコンの両方のチャンネルを変更してください。

オフタイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「消灯」します。

①(オフタイマー)ボタンを押します。

オフタイマーの時間は5分、10分、15分、30分、60分から選べます。



5分後に消灯

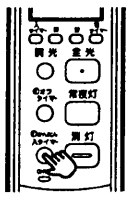
5→10→15→30→60分後に消灯
ch表示(キャンセル)
→:ボタン操作

かんたん入タイマー

ワンボタンで設定した時間後に照明器具が「調光点灯」します。

①(かんたん入タイマー)ボタンを押します。

かんたん入タイマーの時間は1、2、3、6、9、12時間から選べます。



1時間後に調光点灯

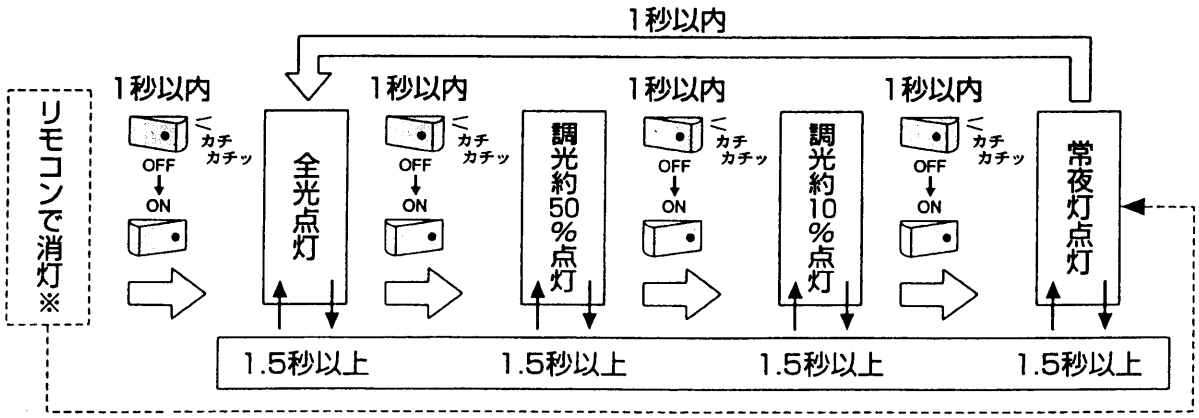
1→2→3→6→9→12時間後に点灯
ch表示(キャンセル)
→:ボタン操作

※(オフタイマー)と(かんたん入タイマー)は併用できません。

※ゆっくりおやすみタイマー動作中は、(オフタイマー)と(かんたん入タイマー)は操作できません。
操作する場合は、ゆっくりおやすみタイマーを解除してください。

器具の使いかた 壁スイッチで操作する

・プルスイッチレス機能・・・ この機能は、壁スイッチの操作によって、点灯状態を切替えることができます。
器具本体内蔵のマイコンが、1秒以内の電流遮断を感知すると、次の点灯状態へ切替わる「スイッチング機能」をはたらかせます。



※壁スイッチをOFFする前にリモコン操作で器具を消灯状態にしておいた場合は、壁スイッチを再びONにすると常夜灯点灯になります。(---→)

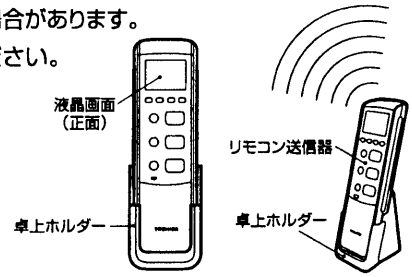
・バックアップ機能・・・・・ 壁スイッチをいったんOFFして、1.5秒以上後に再度壁スイッチをONするとOFFする前の照明器具の点灯状態で点灯します。
蛍光灯および常夜灯の点灯状態(調光状態)をバックアップします。

(0031750)E
<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL(10/12)

タイマー予約における使用上のご注意

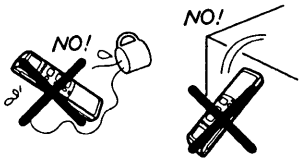
●壁スイッチは必ずONにしてください。
●リモコン送信器と照明器具の距離が離れすぎるとリモコン信号が届かない場合があります。
付属の卓上ホルダーにリモコン送信器を置き、照明器具へ向けて必ずリモコン操作ができることを確認してください。
●卓上ホルダーを本やふとんの上、斜面などの不安定な所に置かないでください。
※転倒した場合、信号が照明器具に届かなくなる場合があります。

●器具と送信器の間に、しゃへい物が無いことをご確認ください。
●天井の高さにより受信範囲が異なります。2.4mを超える天井高さでは効きにくい場合があります。
これを超える場合は床置きではなく、テーブルなどの家具に置いて使用してください。
●卓上ホルダーに置いた場合は器具真下から約3mが受信範囲になります。
●卓上ホルダーにリモコン送信器を正しい向きにセットしてください。(右図参照)
●卓上ホルダーをご使用にならない場合は、正常に動作しない場合があります。
●直射日光のあたる所には送信器を置かないでください。
●ストーブや、ファンヒーターの吹き出し口近くには置かないでください。

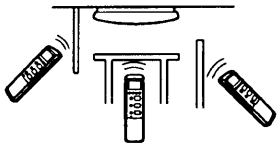


リモコン使用上のご注意

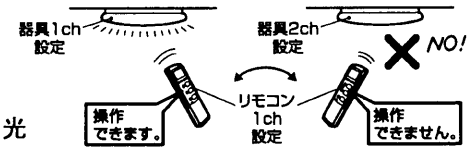
●付属のリモコン送信器は、当社照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。
●リモコンは壁スイッチがONのときのみ切替えできます。
●リモコン送信器で消灯した場合、マイコンを使用しているためわずかな電流が流れて約1Wの
電力を消費します。長時間お使いにならないときは必ず壁スイッチを切って節電を心がけてください。



●リモコン送信器は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因となります。
●リモコン送信器の周囲に図のようなしゃへい物がある場合は、受信器が動作しない場合が
ありますので、その際はしゃへい物を避けて、再度ボタンを押してください。



●天井、壁、床の色や材質で操作距離が短くなることがあります。
●リモコン送信器の送信部、器具のリモコン受光部は汚れますと動作しにくくなりますので
乾いた布でふいてください。又、電池が消耗してくると動作しにくくなりますので、その際は新しい電池と交換してください。
●この照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に作動しないときがあります。
●点灯直後、全光時や調光時、リモコンで切替えにくい場合があります。その際はしばらくしてから切替えてください。
●リモコンで消灯した場合、停電が発生した際にプルスイッチレス機能が働き全光点灯などになることがあります。
●1つのリモコン送信器はチャンネルに合わせた信号しか送信できません。
2台の照明器具を1つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルと
リモコンのチャンネルを合わせて操作してください。



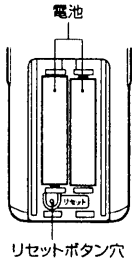
●冬場など周囲温度が低い時、 点灯直後、リモコン送信器での連続調光
『明るさ ▼ ▲ 』ボタンでの長押し操作がききにくい場合があります。
その場合は、『明るさ ▼ ▲ 』ボタンを長押しせず、 1回ずつ押しながら調光してください。

故障ではありません

●冬場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、"ピシ・ピシ"、"ポツ・ポツ"という摩擦音を生じることがあります。
●ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
●器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
●調光点灯の状態で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチでONにすると、いったん全光点灯になった後、調光点灯となります。また消灯もしくは常夜灯点灯からリモコン送信器で調光点灯にする場合は、いったん全光点灯になった後、調光点灯になります。
●器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
●電源の停電などで明るさが切替わったり、切替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチで消灯してください。
●リモコン送信器の『消灯』ボタンを押すと、照明器具が約1秒でフェード消灯します。
フェード消灯機能が働いている途中（約1秒間）に、再度『消灯』ボタンが連続して押された場合、消灯できなくなる場合があります。この場合は、リモコン送信器の『全光』ボタンもしくは『常夜灯』ボタンを押してから、再度『消灯』ボタンを押してください。
●明るさを下げていくと、ランプにシマ模様が連続して発生する場合がありますが、ランプ寿命や器具に影響はありません。

(0031750)E
<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL (T1 / 12)

故障かな?と思ったら。

現　象	考えられる原因	処　置	
リモコン送信器で照明器具が操作できない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。	
	照明器具とリモコン送信器のチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。	
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。	
	蛍光ランプが切れている。	蛍光ランプを交換してください。	
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	
	リモコン内のマイコンが暴走している。	電池ふたを開けて、先の細いもので リセットボタンを押してください。(右図参照)	
	消灯状態で明るさ▲を押している	消灯状態からは点灯しません。 いったん蛍光灯を点灯させてから操作してください。	
予約時刻になっても動作しない。	リモコンの電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。	
	時刻が合ってない。	時刻を合わせてください。	
	照明器具に信号が届いていない。	卓上ホルダーに置いて照明器具が動作する場所に置いてください。	
オフタイマー、かんたん入タイマーが設定できない。	ゆっくりやすみタイマーが設定されている。	ゆっくりやすみタイマーを解除してください。	
ゆっくりおやすみタイマーで消灯しても常夜灯が点灯する。	CH2でゆっくりおやすみタイマーが操作されている。	リモコンと本体のチャンネルをCH1に切替えて操作してください。	

ランプ寿命について

●一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらきすべてのランプが消灯し常夜灯が点灯します。残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切ってすみやかにすべてのランプを交換してください。

お手入れのしかた

●常に明るく安全に正しく使っていただくために、6ヶ月ごとに器具のお掃除をしてください。
●器具の汚れ（ホコリや虫など）は・・・
•和紙や布などの材質を使用した枠は、やわらかいハケでかるく掃除してください。

ご注意 ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品で器具をふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破壊の原因となります。

⚠注意	ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

■お客様メモ

購入年月日　　年　　月　　日

東芝ライテック株式会社　照明器具事業部　〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町 1-201-1　電話(046)862-2103　FAX(046)861-8776

<生産完了 2012年10月01日>
FSH91454REL (T2 / 12)